



東京工芸大学・風工学共同研究拠点・共同集会（2014年2月17日）のご案内

# 建築物の風力・風応答特性のモデル化 に関する研究集会

建築物の耐風設計において、合理的に風荷重を算定するためには建築物に作用する風力の特性を正確に知り、これを反映させた適切な荷重モデル、等価静的風荷重の評価が必要である。建築物の規模、形状は様々であり、作用する風向によっても風力の特性は異なる。また、風力には平均成分と変動成分が存在し、大スパン屋根などの応答では高次モードの影響も大きく、等価静的風荷重のモデル化は容易ではない。その一方で、実務においては外装材の局部的挙動や、建築物全体の挙動を反映した合理的な等価静的風荷重の算出が求められている。建築物荷重指針に示される風荷重算定式は、従来から行われてきた風洞実験による空力データベースや最新の知見に基づいて定められたもので、継続的に改訂が続けられている。また、最近「実務者のための建築物外装材耐風設計マニュアル（日本建築学会）」が出版され、外装材の風荷重算定の資料も充実し、耐風設計における外装材設計の重要性も認識されてきた。この研究会では、建築物の風力・応答特性のモデル化について、その現状や問題点を把握し、今後の研究の方向性等について幅広く議論し、より合理的な風荷重算定法を目指した意見交換の場としたい。奮ってご参加頂き、活発なご意見をお寄せ頂ければ幸いである。

**と き：** 2014年2月17日（月）13:30～16:30（予定）

**と ころ：** 学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28）

都営三田線／都営新宿線／東京メトロ半蔵門線「神保町」駅，A9出口徒歩1分

<http://www.gakushikaikan.co.jp/info/access.html>

問合先： 東京工芸大学・風工学研究拠点・建築構造 II 研究室 046-242-9547

江藤美鶴 [etoh@arch.t-kougei.ac.jp](mailto:etoh@arch.t-kougei.ac.jp)

13:30-13:40 主旨説明 東北大学 植松 康，風工学研究所 勝村 章

13:40-14:05 建築物の局部に生じる風力の特性」清水建設 菊池 浩利

14:05-14:30 強風時の飛来物に対する外装材の耐衝撃性能」日本建築総合試験所 西村 宏昭

14:30-14:55 免震モードを考慮した場合の風応答算定方法の検討」大成建設 寺崎 浩

休憩 10分

15:05-15:30 屋根変動風力のモデル化と風荷重の定式化」竹中工務店 大竹 和夫

15:30-15:55 振りモーメントのモデル化と風荷重の定式化」風工学研究所 勝村 章

15:55-16:20 構造骨組み設計用水平風荷重の組合せ

一風直交方向荷重と振り風荷重の相関一」大林組 染川 大輔

16:20-16:30 まとめ 東京電機大学 河井 宏允